

議 事 録

令和3年度 第1回北栄町地域福祉推進計画推進委員会	
日 時	令和3年7月30日(金)13時30分～15時30分
場 所	大栄農村環境改善センター 2階 大会議室 (←コロナ感染予防対策により場所変更)
出席者 (委員)	長曾我部・井中・森田清・中井・飯田・遠藤倭・田中陽・谷原・秋山・山本・(行政)吉岡健康推進課長・手嶋生涯学習課長・中原教育総務課長
(事務局)	(町)田中福祉課長・田中室長・松嶋室長・菱井主管・阪本主任 (社協)金山局長・秋草係長・前田

○主な意見を抜粋したもの

1:開 会	司会/進行:田中福祉課長	説明・意見者
2:あいさつ	自己紹介(全員)に変更 ※名簿順	
3:議 事		
(1)委員長、副委員長の互選について		
★委員長:長曾我部まどか ★副委員長:山本雅史		
↓ これ以降の司会は、長曾我部委員長		
(2)北栄町地域福祉推進計画について		
※①②は昨年度の取組みの周知		
①概略説明	(資料 NO1)	事務局:田中葉
○特に意見なし		
②2020 事業計画の進捗管理の結果(評価)	(資料 NO2)	事務局:田中葉
○特に意見なし		
③2021事業計画の進捗管理(目標設定)←ここが本日メイン	(資料 NO3)	事務局:田中葉
本議案の目的は、指標・目標設定の内容確認(点検)を委員のみなさんと進めていくことである。ここに記載のあることで、不明なこと、ご意見は遠慮なく話していただきたい。最初に町の13 施策を確認し、その後、社協の13 施策を確認する。時間の関係上、本日は話きれないことがあれば、本日は配布した「ご意見記入用紙」に記載し、事務局に提出してください。		長曾我部委員長
■町の目標		事務局:田中葉
I (1)①	○今年度フォーラムにおいて、若者の参加率の上がるためにどんな工夫をしているか？	田中陽委員
	⇒高校生ボランティアの参加を促したり、講演内容も難しい内容ではなく、落語を取り入れ、楽しく聞きやすいものを取り入れた。	事務局:田中葉
(2)③	○校生が企画したメッセージ付配食サービスは、今までやっていることと同じか？	中井委員
	⇒社協も別の取組みとして実施している。	事務局:前田
	⇒昨年度、高校生議会で高校側から提案のあったもの。	田中課長
(3)	○特に意見なし	

II(1)	○重層的支援体制整備事業実施計画は、今年制定するか？	秋山委員
	⇒後ほど詳細を説明する。今年度策定し、この地域福祉推進計画の第3部とし、内包する形をとる(予定)	事務局:松嶋
(2)	○特に意見なし	
(3)	○特に意見なし	
(4)	○昨年度、災害時の支援の評価はC(3段階評価の下位)となっているが	秋山委員
	対策は？	
	⇒町でも反省点を踏まえながら、防災の担当課である総務課と協議して進めていきたいと考えている。	事務局:田中葉
	○HUG 研修とあるがどんなことか？ いつ使うのか？	秋山委員
	⇒HUG とは、実は日本語の略。「ひなんじょ うんえい ゲーム」のこと。	事務局:阪本
	(ゲームの説明)	
	11月、町の障がい者地域自立支援協議会の研修の場を取り入れる。	
(5)	○成年後見制度の利用は以前からやっているが、利用する人がいないから今年度計画を策定するのか？	井中委員
	⇒議事(4)で詳細説明をする。より利用しやすい制度として整備する。	
	法的にも義務化が明記してある。	
(6)	○アウトリーチとは？	遠藤委員
	⇒出かけていくという意味で、詳細は、本日の資料 P16に記載あり。	松嶋委員
	○町と社協が対応するか？	遠藤委員
	⇒両方が対応する。	
	○OP8の表中に「左記」とあるが、これは「2020年度実績」ではなく「指標」を示しているか？	中原委員(課長)
	⇒そのとおり。	事務局:田中葉
(7)	○共助交通のところの1地区は、どこを指しているか？	谷原委員
	⇒栄地区。自治会単位ではない。	事務局:田中葉
III(1)	○特に意見なし	
(2)	○	田中陽委員
(3)	○こけないからだ講座の参加自治会の目標は、30は少ないのでは？	
	もう少し高い目標でも良いと思う。	
	⇒なかなか増えない現状がある。コロナウイルスの影響もある。本来、全部落が目標としているところだが、最低でも2か所という意味である。	田中課長
■社協の目標		事務局:前田悦
I(1)①	○	
	⇒	

(2)	○中央育英高校以外のボランティアを考えているか？ 高校には案内を出しているか？	山本委員
	⇒毎年、他高校もできるようなメニューを用意している。 高校には特に案内は出しておらず、町放送で案内をしている。	事務局:前田悦
	○ボランティアの人数は、最近の状況はどうなっているか？	秋山委員
	⇒減少傾向にある。やる気持ちにある人はいるのだが。	事務局:前田悦
	○生活養成講座がボランティアの養成として育っているか？	秋山委員
	⇒活動していく機会は増えつつある。	事務局:前田悦
	○数値も追ってみてほしい。	秋山委員
(3)	○指標に「開催の働きかけ」とあるが、具体的には？	秋山委員
	⇒自治会や民生児童委員の会などで周知している。	事務局:前田悦
	○周知するだけでは進まないの、役割をふらないといけないのでは。	秋山委員
	⇒	事務局:前田悦
	⇒なかなか持続しないが、成功している事例もあるのでは。	秋山委員
	○やるまでのハードルが高いのか、どこに問題があるのか ★働きかけのポイントは 1 やり方がむずかしいのか 2 人がついてこないのか	長曾我部委員長
Ⅱ(1)	○フローチャートの意味は？	遠藤委員
	⇒流れを図で示したもの	事務局:前田悦
(2)	○行政と社協が個々に(別々に)やるのではなく、一緒にしてはどうか？	井中委員
	⇒見せ方の問題で、誤解が生じた。	長曾我部委員長
	⇒次回はそのように(記載方法)を変更したい。 現場では連携している。	田中課長
	※長曾我部委員長が白板に表を提示	
	○OHP や広報誌は一方的な周知方法であり、どれくらい読んでもらえているかが不明。そして、どれくらいの人に理解していただけているかが不明。	山本副委員長
	⇒「地域福祉」を理解してもらうために、生涯学習課の出前講座に積極的に参加する計画をたてている。昨年度は1自治会希望があったが、自治会の都合によりなくなった。今年は、こちらから働きかけていき、直接話せる機会を設けたいと思う。	事務局:田中葉
	○中には積極的な自治会もあるように思う。	田中陽委員
	○OHP は、どこをみてもらっているか履歴がわかると思う。 (アクセス件数がわかる)分析が必要。	秋山委員
(3)~(7)	○特に意見なし	
Ⅲ(1)(2)	○Ⅲ(1)と(2)の差がわからない。もう少し具体的にいえばどういうことか？	中井委員
	⇒対象者が違う	事務局:前田悦
	○社会参加ができてにくい人とは？	中井委員
	⇒例えばアルコール依存症の方、ひきこもりの方など	事務局:前田悦

	○どんなふうに役場(町)と社協が連携しているか？	中井委員
	⇒町が支援会議を開催するときに、社協にも出席していただく。(参加支援)	事務局:松嶋
(3)	○どんな方でも参加できるメニューとは何か？ 年代ごとに違うイベントか、ひとつのことに違う年代が含まれているのか どのような人でも参加しやすいようなメニューを考える。	秋山委員
	⇒住民のニーズを聞きたい。	事務局:前田悦
	○ラジオ体操とか	井中委員
	○ボランティアサークルを活用してみても。	長曾我部委員長
(3)重層的支援体制整備事業実施計画の策定について (資料 NO4)		事務局:松嶋
	○	中井委員
	⇒	
	⇒この計画は任意であるが、国はどの市町村においても必要と言っている。	
	○自分からいけない人もいる。 出かけて行って進めていただけたら・・・と思っている。	遠藤委員
	○プラットフォーム的な考え方で物事を進めていく。そのあたりの認識は？	秋山委員
	⇒これだけではなく、いろいろな問題を見ていく。現在のところ、関係機関で協議中であり、体制を作ろうとしている。	事務局:松嶋
(4)成年後見制度利用促進計画について		事務局:菱井
※別添資料(地域福祉推進計画の第4部を新設し、ここに内包する旨説明)		
○特に意見なし		
4:連絡事項		
(1)計画推進委員会の開催について		事務局:田中葉
	○11月に開催予定とあるが、自治会長会の頃とは重ならないようにお願いしたい。	山本副委員長
	⇒わかりました。	事務局:田中葉
(2)北栄町地域福祉推進フォーラム2021(予定)について (資料 NO5)		事務局:田中葉
※本日、役割分担表を配布し、推進委員からも2名程度お願いしたいと伝えた。		
昨年度のスタッフ数と比較すると1/2を計画している。		
5:その他		長曾我部委員長
○今年度の計画の進捗管理(評価)について、事務局の方では、昨年度の3段階評価(A・B・C)ではなく、文章化するとのことであるが、ご意見あれば、本日配布している「ご意見記入用紙」を事務局まで提出してください。 その他、なんでも伝えたいことを記載して提出してください。		
6:閉会		田中課長
終了:15:30		